

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月31日
南信州地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	15	課題区分	A		
実施機関	南信州地域振興局			担当	所属 環境課
事業名	南信州レジ袋・プラごみ削減推進啓発事業			電話	0265-53-0434
				E-mail	minamichi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	管内一斉レジ袋削減の取組開始から10年の節目に、海洋プラスチックごみの現状や、河川上流域のレジ袋などのプラスチックごみも海洋汚染に関わっていることについて、広く一般県民に理解を深めていただくことで、レジ袋削減の意義や重要性をあらためて認識し、ひとり一人に何ができるのかを考えるきっかけとする。			
	現状と課題	10年間の取組により、当地域では買い物時のマイバッグ持参が定着した一方で、取組店舗数が平成22年度をピークに減少しており、あらためて関心を高める必要性が感じられる。 さらに、このところ海洋プラごみ問題が深刻であることから、レジ袋削減だけでなくプラごみ削減についても啓発が必要になっている。			
	内容 (変更後の内容)	◆県民、南信州レジ袋削減協議会メンバーなどを対象にした「シンポジウム」を開催する。 ○日時:平成31年3月9日(土) 13時20分～16時 ○会場:飯田合同庁舎講堂 ○内容: ①基調講演 (演題)「暮らしのごみが海を汚す～プラスチックによる海洋汚染～」 (講師)一般社団法人JEAN 事務局長 小島あずさ氏 ②パネルディスカッション (テーマ)「上流域の私たちにできること」 (パネラー)小売店代表、消費者代表、協議会会長、行政(資源循環推進課長) ③海洋汚染の写真パネルや海洋ごみ等の会場展示			
	事業期間	平成31年1月		～	平成31年3月
	成果目標 (成果指標)	参加者数:200名			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	シンポジウムの開催	講演会、パネルディスカッション、写真パネル等展示	546,665		
	合 計		546,665		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	○基調講演では、世界中で問題となっているマイクロプラスチックなどの海洋プラごみの現状について理解を深めた。 ○パネルディスカッションでは、パネラー4名及び来場者が、海洋プラごみを減らすために上流域の一人ひとりができること等について意見交換を行った。 ○会場に、海洋汚染の写真パネルや、海洋ごみの実物等を展示した。 ○来場者数は50名であった。	○講演、パネルディスカッションの発言や、来場者アンケート結果から、海洋プラごみは誰もが関わりうる問題であることや、無駄な買い物でゴミを家庭に持ち込まないなど、一人ひとりができることを行っていく重要性について啓発することができたと考えられ、目指していた内容の事業とすることができた。 ○来場者は目標数に達しなかった。	○ 期待以上 ○ 期待どおり ● やや下回る ○ 期待以下		
今後の方向性	今後長野県が取り組んでいく「プラスチック・スマート長野県」(プラスチックごみ削減)とも連動させながら、南信州レジ袋削減推進協議会として、レジ袋削減から一歩踏み込んだ「プラごみ削減」を議論し行動していく。				